

KGAニュース '85夏季号



目次

クラブに“ゴルフボス”をつくってはいけない	1
稻山 嘉寛	
第37回関東アマチュアゴルフ選手権競技	4
杉山 通敬	
第31回関東女子ゴルフ選手権競技	7
第32回関東倶楽部対抗予選競技成績	10
ルールQ & A	12
日本ゴルフ協会、規則委員会判例	
お知らせ	13
第8回ジュニアゴルフ教室	14
理事会・委員会	15
実施要項	17
月例成績表(昭和60年4月・6月)	20

No. ||

理事長インタビュー

クラブに“ゴルフボス”をつくってはいけない

鷹之台C.C理事長
経団連会長
聞き手・KGA広報委員 杉山通敬



—いい時代でしたね。

「ええ、古き良き時代ということですかね。当時は2人組があたり前で、4サムというのはいわゆる2ボール4サム、いまのように4人が1つずつボールを打つ4人組とはちがいましたし、概ねは2ボール2サムでしたから回るのも早かったわけです。道路だって車は少なかったですし、ほんとにゴルフやるのに楽でしたよ」

—当時と今と、ゴルファー気質の違いのようなものを感じなりませんか？

「時代背景が違いますからね。なんと申しますか、当時の東京ゴルフ倶楽部とか程ヶ谷カントリー倶楽部はそれこそ上流階級の人々のクラブで、我々一般市民にはシキイが高かった。なかなかプレーさせてもらえないかったんですが、たまにプレーしても、ちょっとでも進行が遅れると、文句を言われて、そりや気が張りました。そんなことで、庶民がもっと気楽に回れるクラブを造ろうじゃないか、ということで霞ヶ関カントリー倶楽部なんかが出来たわけですね。2・26事件とか、5・15事件などは一種の現状打破だったと思うんです。いつの時代にも、またどういう階層にしあ、現状を突き破ろうとする人達がいるわけで、霞ヶ関を初めとするクラブも高踏的なクラブに対して、なにかと不満を持っているゴルファーが作ったのではないかでしょうか。ま、それでもゴルフ界全体はのんびりしたものがありましたね。今はとにかくプレー費が高すぎますよ。土地がなにしろ、昭和20年当時と較べると3000倍になっているわけでしょう？収入の方は400倍でしょう。経済全

理事長インタビュー

体がアンバランスなわけですね。それを是正するのを政治だと思うんです。景気を良くすることじゃなく、このアンバランスを解消するのが政治だと思いますよ。ですから、何かにつけ今のはイライラしてるんじゃないですか。それがゴルフのプレーにも現われていて、みんなガツガツとプレーしてるように思います。せっかく高いフィットしたんだから、自分達だけは存分にプレーしたいって……」
一日頃の欲求不満がプレーぶりにも現れてくるんでしょうね。

「金を出せばなんでも手に入る時代ではあるんですけど、じゃ家を建てるだけの金があるかというと無い。ゴルフ場の会員になるだけの金があるかというとこれも無い。そのへんのところでイライラが出てくるのだと思うんですが、これは日本人全体が我慢することを忘れちまったからじゃないですかね。政治というのは景気を良くすることより、人々に我慢と努力、それから真剣さですね、これを植えつけることだと思います。自由主義とか民主主義とか、これが悪平等になっています。もっと我慢の精神、努力と真剣さを持つようにしないといけないと思います。新入社員を探るときに大学の偏重を無くするように、という風潮がありますけど、いい成績を出す人はそれなりに健康を保持して、努力もした人達ですよね。スポーツでいい成績を出す人にしたって同じです。真剣に取り組んだ人のなかから順に採るのがあたり前じゃないですか。それを平等にやれというのは悪き平等だと思うんです」

—ところで、鷹之台カントリー倶楽部の理事長としてのクラブ運営の方針なり、ポリシーをお聞かせ下さい。

「ゴルフは言ってしまえば遊びですよ。みんな楽しくプレーできればいいわけで、どなたも面白いからゴルフやってるんじゃないですか。ですから、そういう雰囲気を作ることが大切だと思います。ボスを作らないことですよ。ゴルフボスを。みんな楽しむためには、特定の人を特別扱いされるようじやまずい」

—ひとりのゴルファーが楽しむためには、他の全員も同じように楽しめるような雰囲気を作らなければならない、ということでしょうか。



「私はそう思いますよ。ゴルフ場へ来たら誰もが平等でなければ。その点、鷹之台はうまくいってると思います。フロントの女性もニコニコ迎えてくれますし、売店の2人の女性も美人（若くはありませんけどね・笑）で、笑顔を絶やさないし、キヤディも気持よく接してくれる。いい雰囲気というのはみんなで作り出すものですからね。そういう気持さえ持ていれば、難しいことを考えなくてもいいじゃないですか」

—ゴルフはある意味でマネジメントのゲームと言われていますが、会社経営に共通したもの、あるいはゴルフが経営に役立ったことがありますか。

「なかにはそういうことを言う方もいるようですがそれから健康のためにやっているのだ、と言う方もいますけど、私は面白いからやってるんです。ハンディは霞ヶ関に入ったときが18で、それから戦後、紫カントリークラブが出来たときに会長に祭りあげられて、その時は19。ですから鷹之台でもそのまま19ですけど、もちろん、そんな実力じゃありません。でも、頭の中ではいつもゴルフのセオリーを考えながらプレーしてますよ。頭で考えたとおりにはいきませんけど、その気でプレーするところが面白いじゃ

理事長インタビュー

ありませんか。ゴルフは本当に面白いですよ。去年の夏は10日間、ぶっつけでやりました。鷹之台へも、いまだに土曜と日曜は行くようにしています」一話は別ですが、JGAの会長なり、KGAの理事長を依頼されましたらお引き受けいただけますか。まあ今まで「仮に依頼されたら」のことですけれども。

「いやー、なにしろ、すでに90もの団体の会長をやっておりますからね。身動きとれないです。会長というのはどんな会長でも欠席できないので困るんです。副会長以下の役員は、ちょっと「代理」の人が出てくるんですけど(笑)。そんなわけで引き受けた以上は責任を持ってやらなければならないわけで、その自信が無いんですよ」

—最後に、これからゴルフ界に望むものはどういうことでしょうか。

「とにかくプレー費が高すぎます。ま、ゴルフ場の建設費が高いのでやむを得ないところはあるでしょうがね。ひところは18ホールで80億だと聞いてましたけど、今じゃもっとでしょう?100億とか。それじゃ、入会金が高くつくのはあたり前ですし、ビジターフィーだって高くなります。若いゴルファーはどうやってその金をひねり出してるんでしょうかね」

—このままで、それこそ、イライラ、ガツガツ

したゴルファーが増えていく一方だと思うのですけど。

「ま、何によらず我慢と努力、仕事でもスポーツでも真剣になればなるほど、これが必要になってくるでしょうね。私の人生哲学もあるんです。我慢と努力は。これを持っていれば、なにをやっても成功すると思います。今は日本人の90パーセントが中流意識を持っていますからね、もう貴族も上流も無い、みんな平民ですよ。ゴルフだって平民の遊びですよ。なんとか安く出来るようにしなければいけないと思います」

—ところで、たしか70歳以上の方は利用税が半額になるんですが、会長はいつも半額でやっておられますか。

「ほう、そうですか。私は気がつきませんでしたけど、何も老人を特別扱いしなくてもいいじゃないですか、ゴルフの場合は。トシってからもゴルフをやろうっていうような人は、金だって不自由しないでしょうし。何かと老人保護、老人保護って言いますけど、ゴルフなんか若い人をもっと考えてあげたらいいじゃないですか。金に困ってるのは、老人より彼らの方なんでしょうから……。だいたい、これだけ庶民のゲームになったのに、利用税をとられるなんておかしいと言えばおかしいですよ」



昭和60年度関東アマチュアゴルフ選手権競技

●期日 6月11日～13日 ●コース 横浜カントリークラブ西コース 6,316m パー72

★9ホールで5打差を逆転した明と暗

杉山通敬

横浜CCの2階談話室に戦い終った川岸良兼が大きな背をこんもりと丸めて座る。10名余りの記者団がメモを片手に彼を囲む。

—あの一打はどうしちゃったの？

「ふつうの感じで打てたと思ったんですけど、あんなはうに飛んでっちゃいました」

—どこらへんからプレッシャー感じた？

「夕べ寝る前から。優勝しなけりやいけないのだと思って……」

—インに入ってからこれだけ崩れたのは？

「下手だからですよ。あの一打だけではなく、全部のショットが悔れます。あんなこと言わなければよかったです」

頭を搔いたり、顔を撫でたり、大きな体をモジモジさせながら、いたずらをした生徒か職員室で先生からお叱りを受けてるような風景だった。

あの一打という人は大詰め18番のティショットのことである。17番で、インに入って4つめのボギーを出して、5ストロークあった差を加藤一彦に縮められた。その直後のティショットだ。ビッグボールが右の山の彼方へ消えた。18番は567mのロングホール。先に打った加藤の第一打はフェアウェイ右寄りに飛んでいた。同伴競技者の堀越栄治郎、岡田光正のボールもいい位置にある。3人がフェアウェイを歩くなか、川岸は脇目もふらずに雨でぬかるんだ土手の上を駆けあがる。その背中が泣いていた。

「おー、あったか？」

フェアウェイから土手の上の川岸に向って加藤が声をかける。腋を搔きわけながら川岸は首を横に振る。ないのか、そう言いながら加藤も堀越も岡田も、そして数10人のギャラリーも足場の悪い急斜面を登る。たぶん、このあたりだろうという予測をたてながら「捜査隊」が草むらをわける。川岸のボールは、その50ヤードほど先にあった。湿った裸地の上。グリーン方向には山と木。横に出すしかない。左足下り、湿った裸地、横に出すにしてもライが悪い。お

まけに何本か木もある。

川岸の第2打は辛うじてフェアウェイ右のラフに出ただけだった。悪いことに目標方向にはとてつもなく背の高い松がある。その上を越すにはウッドは無理。

—松越えの第3打、あれは何番で打った？

「7番アイアンです」



—どのくらい飛んだかね。

「200ぐらいだと思います」

その一打は松の木を高々と越えて飛んだ。あまりにも高く、高いわりには距離が出たので、私はブツ魂消てしまい、川岸の打ったあとから実際に歩測してみた。191歩(1歩80センチ) あった。第4打は9番アイアン。これは見事にグリーンをとらえる。加藤は第3打をミスしてグリーン手前、アプローチも5mほどにしか寄らない。川岸も6m前後だったから、条件は同じと言ってよかった。

—どういうラインだった？

「ラインなんて読んだってわかりませんから、ただ、真直ぐ打っただけです。真っ直ぐ、それっきりやない、と思って……」

—で(?)

「打ち切れませんでした」

ボギー。肩を落してグリーンサイドに引きさがる。万事休す、という風情が川岸の体から漂っていた。

★加藤、執念の逆転

「ねえ、皆んな覚えてる？パレステロスが入れたラ

インと同じなのよ。だから思い出してネ、パレステロスが入れたところからだから、入るぞって…」

昭和53年の日本オープン最終日、パレステロスは18番で7メートルほどのパットを入れてグラハム・マーシュと首位を分け、プレイオフで勝ったのだが、その土壇場で決めたパットと同じだった、と言うのである。

加藤はそのパットを決めて最後の最後で川岸を抜き去った。

「お前、悪かったな」

ウィニングパットを決めたあと、加藤は後輩(日本大経済学部)の川岸のところへ歩み寄って言葉をかける。後輩はうなだれて苦笑するばかり。試合後の優勝インタビュー。

—さて、何か聞こうか。

「13番を終ったところで聞いたわけよ。18ホールだって(決勝ラウンドは13日に36ホール消化する予定だったが、朝からの強い雨でグリーンにも水がたまり、プレーの進行もそのために遅れたため18ホールに短縮された)で、このまま彼に楽に勝たせちゃいけないと思ったわけ」

—しかし、すごい執念だったね。

「執念というより信念よ。最後のパットは絶対に入れるって信念をこめて打ったもの。それにしても17番のセカンドが良かった。川岸君もあそこからは乗らないと思って見てたと思うよ。アゲインストだし、とどかないと思ったけどウッドでひっ叩いたわけ。そしたら乗っちゃったものね」

—あの一打が勝因？

「まあね。彼はセカンドを左に打ってグリーン外してたし、あそこからのアプローチは難しい。きっとハーフトップするぞって見てたら、やっぱりそうだった(グリーンの反対側にオーバー、そこからのアプローチも寄らず)。でも、よく入れたよ。2m半ぐらいあったんじゃない」

—それでも雨の中で、インの2アンダーは立派だったね。

「でもさあ、川岸君にはいつも20から30はおいていかれるし、若いのに彼は小さいものも上手いし。たった1打で泣いた感じね。18番のティショットだけじゃない、みんなに曲げたの。悔しいだろうけど、

こういう経験を積んで強くなるんだから仕方ないよ。あのまま突っ走って勝ってもフロックだって見る人も出るだろうし。負けてから勝ったほうが今後のためにはいいと思うんだ」

—まだ、重い自転車、乗ってるの？

「今年はね、ランニングとダッシュ。それから、うんと重い鉄の棒振ってるの」

—重いってどのくらい。普通ドライバーの重さは100匁ぐらいなんだけど。

「200匁とか300匁とか、そんなもんじゃない。2kg、いや3kgぐらいあるかな。重い棒をちゃんと振り切れるようになれば筋肉だって強くなるもの」

★負けておぼえる相撲かな

それにしても、9番ホールのセカンドをグリーンオーバーさせてOB、アウトを終った時点では川岸に5打差をつけられてからの逆転は見事と言ふよりない。特に14番、15番のバーディがきいた。

参考までに両者の決勝ラウンドの各ホールのスコアは下記のとおり。

ホ ル ル	メ ー ト ル	バ シ ル	加 藤	川 岸	ホ ル ル	メ ー ト ル	バ シ ル	加 藤	川 岸
1	375	4	4	4	10	362	4	4	4
2	411	4	4	4	11	151	3	3	4
3	165	3	3	3	12	284	4	4	5
4	520	5	5	4	13	345	4	4	3
5	380	4	4	5	14	183	3	2	3
6	475	5	6	5	15	503	5	4	6
7	174	3	4	3	16	329	4	4	4
8	297	4	4	4	17	425	4	4	5
9	370	4	6	4	18	567	5	5	6
	3,167	36	40	37		3,149	36	34	40

「アンダーパーで優勝しなければ価値がないです。ショットはいいし絶対にやります」

前半の36ホールを終って、2アンダーの142、若い川岸はそう言って決勝ラウンドに臨んだのだが、試合後はあんなことを言わなければよかったです、と頭を搔いていた。負けておぼえる相撲かな、であろう。ボビー・ジョーンズも、勝った試合より、負けた試合から多くのものを学んだ、と言っているし、川岸にとってこの敗戦は明日の糧になったことだろう。それにしても、ゴルフのセイフティードはどのくらいなのだろうか。

競技

昭和60年度関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者 160名 6月11日(火)～13日(木) 於：横浜カントリークラブ(西コース)

順位	氏名	クラブ	1R			2R			3R			合計
			O	I	計	O	I	計	O	I	計	
優勝	加藤一彦	千葉	35	36	71	36	37	73	40	34	74	218
2	川岸良兼	日大	37	34	71	36	35	71	37	40	77	219
3	米山剛	鳥山城	37	35	72	36	39	75	36	37	73	220
4	志村幹夫	大洗	37	38	75	37	38	75	36	37	73	223
5	青山裕之	日大	38	36	76	38	35	73	40	35	75	224
5	小川透	岡部チサン	35	36	71	42	40	82	36	35	71	224
(以上入賞)												
7	成田朋正	浜松豊岡国際	37	39	76	36	38	74	35	40	75	225
7	松田守功	習志野	39	34	73	37	39	76	38	38	76	225
9	室伏健二	東名	38	37	75	38	38	76	37	38	75	226
9	中島和也	矢板	38	37	75	34	39	73	40	38	78	226
9	堀越栄治郎	相模原	34	36	70	38	37	75	39	42	81	226
12	太田再勇	大相模	36	39	75	37	38	75	38	40	78	228
12	浅川辰彦	武蔵	40	35	75	36	38	74	36	43	79	228
12	森山茂雄	横浜	36	36	72	38	37	75	42	39	81	228
12	岡田光正	嵐山	36	37	73	38	34	72	41	42	83	228
12	高橋正博	東筑波	37	38	75	39	38	77	39	37	76	228
17	前場敏信	杉ノ郷	40	37	77	37	36	73	40	39	79	229
17	阪田哲男	袖ヶ浦	37	35	72	39	39	78	41	38	79	229
17	内藤正幸	桜ヶ丘	35	39	74	37	39	76	39	40	79	229
17	秋山光司	富士平原	38	36	76	37	38	75	39	39	78	229
17	松井滋	泉月・鹿沼	37	41	78	37	35	72	41	38	79	229
17	大友好雄	塙原	37	39	76	37	36	73	41	39	80	229
17	宮辰夫	習志野	39	35	74	37	37	74	43	38	81	229
17	上杉好秀	富士チサン	39	37	76	36	35	71	40	42	82	229
17	佐久間馨	東名	39	37	76	36	35	71	41	41	82	229
17	工藤久人	日大	35	37	72	39	41	80	40	37	77	229
17	原龍雄	東名厚木	38	37	75	39	38	77	40	37	77	229
28	吉田八郎	府中	39	36	75	36	39	75	43	37	80	230
28	波場イサク	日大	35	40	75	35	39	74	41	40	81	230
28	加藤家光	甘楽	36	36	72	37	40	77	40	41	81	231
31	大竹徹	高根	36	37	73	44	34	78	42	38	80	231
31	五十嵐唯郎	東京五日市	37	38	75	38	37	75	40	41	81	231
31	中野弘治	美善	38	35	73	41	34	75	42	41	83	231
31	奥庭通康	茨城	41	37	78	39	35	74	39	40	79	231

(以上決勝ラウンド)

競技

昭和60年度関東女子ゴルフ選手権競技

●期日 5月29日(水)・30日(木) ●コース 高麗川カントリークラブ(5,800m・パー74) ●参加者 137名



初優勝の吉村選手

本年度関東女子ゴルフ選手権の予選競技は5月13日(月)鎌ヶ谷、14日(火)には東京国際の2ヶ所で行なわれた。予選の参加者総数は308名。最近の女性のゴルフ熱を反映して参加者数も増大の傾向にあるのは喜ばしい。

鎌ヶ谷では80ストロークの加藤勝栄(平塚富士見)をトップに89までの63名が予選を通過、また東京国際ではベテランの石井羽留子(桜ヶ丘)と前年度の関東ジュニア選手権で出場資格を獲得した木村敏美の2人が77ストロークでトップに並び、以下89ストロークまでの63名が決勝に進出した。

シード選手11名が加わった決勝では、注目的はやはり中島恵利華(矢板)だった。ジュニア時代から中島常幸プロの妹として華やかにデビュー、関東女子に昨年は惜しくもプレー・オフで敗退したが、それまでは三連勝という輝やかしい戦歴の持主。テレビや新聞の取材は、もっぱらこの中島に集中した。ところが4月に虫垂炎の手術をしたばかりだという中島は、やや面やつれしていて従来の体力を回復しているかどうかが懸念されていたが…。

第1ラウンド、この中島から除々に主役の座を奪っていたのは、ジュニアの木村敏美である。堀越学園高校2年生でまだ16歳という木村は、参加選手中の最年少者だが、同じ組でまわっている中島を常に10mから20mもアウト・ドライブするほどの大物

振りを発揮した。とにかくこの若さで日本ゴルフ協会のナショナル・チーム強化候補選手に選ばれ、その強化合宿ではアマチュアの男子一流選手たちを「下手をすると置いていかれる」とあわせたほどの逸材であり、仲間うちでは「化け者よ」といわれるくらいの飛ばし屋である。飛ばし屋だけにスタートの1番では、いきなり左にひっかけてOBのダブルボギーと派手なスコアをたたき、8、9番をボギーにしてアウトは4オーパー・パーの41だったが、インに入ると持前の長打力を発揮するとともに、パットも決り出し、11番(125m)と18番(400m)でバーディーを奪った他は、すべてをパーにまとめ、アウトを39にまとめた中島を鮮やかに逆転、2オーパー・パー76でトップに進出した。1ストローク差2位には中島をはじめ、前年度優勝の渡辺恵子(高根)ベテランの吉沢キミ子(セントラル)それにこれもジュニア出身の喜多麻子(茅ヶ崎)福井美保(GMG八王子)らが並び、まさにベテランとジュニア上りの新鋭との激突の様相を呈して来た。

成績順に組合わされた最終日は、優勝への最短距離にあった最終組が、最初から荒れ模様のせり合いを展開した。前日トップの木村が1番をボギーにした後、3番でバンカーからホームラン、トリプル・ボギーの8をたたいて先ず脱落、渡辺も1番ダブル・ボギーの後、5番から三連続ボギー、若い福井も後退すれば、喜多もキャリア不足で大叩きをしてしまい、優勝争いは最終組より1組前の中島、吉沢、それに前日79の5位だった尾関久江(武藏)吉村雅江(日体大)らの手に移った。



18番ホール、ワンストローク吉村選手にリードされた中島はバーディーならず。優勝決定した吉村(右)

競技



優勝した吉村選手の力強いショット



「今年は優勝します」と言ってスタートした中島選手もバットが決らずガックリ。

この中でも期待されていた中島は、体調の回復が十分でないと見えてプレーに冴えが無く、「何か集中力がなくなってしまう」とかで、アウトは2オーバーの39、インでは10番で20cmのパットも外してダブル・ボギーをたたくなど、まるで追い込みが効かない。

かわってトップに出たのが吉沢キミ子。昭和52年に初優勝をとげて以来、何度も優勝争いに顔を出しながら2度目の優勝にはなかなか手が届かなかっただけに、ここはなんとか取りたいところ。アウトを1バーディー、2ボギーの38にまとめたところで単



健闘をたたえながら乾杯する上位入賞者

独トップに進出、続いて13番(454m)のロング・ホールでバーディーを追加してよいよ逃げ込みの体制である。ところがどう魔がさしたか、その吉沢は14番から4ホール連続ボギー、つかみかけた絶好のチャンスがスルリと身をかわしてしまったのである。

この混戦の中で勝利の女神は思わず人に笑みかけた。東京国際での予選では86ストロークの23位で通過して来た吉村雅江(日体大)である。それが1日目は79ストロークで7位タイ。この日は1番、2番でうまいアプローチを見せて連続バーディーの好スタートを切り、その後、3ボギーを叩いたものの、9番(433m)でも第3打を1mにつけてアウトはイーブン・パーの37、インでは10番と17番で3パットして2ボギーを出したが、他を手堅くパーにまとめて2オーバーの39、ついに自滅していった吉沢や中島を1ストローク差に逆転してしまったのが、「優勝ですよ」と知らされて「本当ですか」と一番ピクリしたのが本人自身。最終組が総くずれになったことも知らず、たんたんと自分のプレーに打ち込めたことが、無欲の勝利を誇り込んだのであろう。

吉村は高校3年のとき日本ジュニアの女子の部に優勝、日体大2年の昨年は日本女子学生選手権にも優勝しており、これが三つのタイトル。

それにしてもジュニアから育って来た選手たちの活躍が目立った大会であり、彼女たちの今後の成長が大いに期待出来そうである。

競技

昭和60年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者137名 5月29日(木)・30日(金) 於:高麗川カントリークラブ

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	
			アウト	イン	アウト	イン		
優勝	吉村 雅江	日 体 大	38	41	79	37	39	155
2	高橋 良江	嵐 山	39	41	80	37	39	156
2	吉沢キミ子	セントラル	40	37	77	38	41	156
2	中島恵利華	矢 板	39	38	77	39	40	156
5	原田香利	日 大	43	37	80	37	40	157
(以上入賞)								
6	三木恵美子	富 士	40	40	80	38	40	158
6	渡辺 恵子	高 横	40	37	77	42	39	158
6	木村敏美	関東ジュニア	41	35	76	42	40	158
6	横井 美保	GMO八王子	39	38	77	41	40	158
10	小笠原さち子	大 厚	42	41	83	38	36	159
10	谷 恵	学 大	39	41	80	43	36	159
12	鳴田万里子	千 曲 高 原	42	38	80	41	39	160
12	尾間久江	武 藏	39	40	79	41	40	160
14	湯原光葉	鳥 山 城	42	42	84	35	42	161
14	前田美礼	成 城 大	40	39	79	40	42	161
16	仁科敏江	草月・佐野	39	42	81	43	38	162
17	内田トシ子	新 宇 都 宮	42	39	81	40	42	163
17	紀村多栄	富 士 平 原	43	36	79	44	40	163
17	直 真 麻 子	茅ヶ崎	39	38	77	46	40	163
20	近藤信子	富士ロイヤル	45	41	86	41	37	164
20	佐藤奈保子	日 大	42	41	83	42	39	164
20	猪股恵美子	上 稲 富 士	44	38	82	42	40	164
20	石井羽留子	桜ヶ丘	41	41	82	41	41	164
24	田村千代子	鎌ヶ谷	45	41	86	40	39	165
24	鈴木エツコ	大 奎 葉 野	40	44	84	40	41	165
24	中田美 祐	袖ヶ浦	45	39	84	41	40	165
24	加藤麻耶	平塚富士見	43	39	82	42	41	165
24	池田広子	紫雲 塚	43	38	81	43	41	165
29	永沢利永子	入 間	43	43	86	42	38	166
30	大川則子	慶 葵 沢	43	42	85	42	41	168
30	菊地恵美子	宇 郡 宮	40	43	83	43	42	168
30	金田正子	大 厚 木	44	39	83	45	40	168
30	太田由紀枝	川 越	43	39	82	43	43	168
30	五十嵐弘子	成 美	41	40	81	45	42	168
30	久松由里子	関東ジュニア	41	39	80	45	43	168
30	中村友里子	東 千 葉	46	41	87	38	43	168
33	今井美千代	東 名 原 木	41	42	83	44	42	169
37	柳沢 み る	慶 心 大	39	43	82	45	42	169
37	甘穂桂子	東 千 葉	43	38	81	46	42	169
40	椎名美赤子	大 利 根	43	42	85	45	40	170
40	田 中 優	浅 見	42	41	83	44	43	170
42	田 中 成 美	成 大	44	43	87	41	41	171
42	高橋典子	鳥 山 城	44	42	86	43	42	171
42	森田靖美	東 球 研	44	41	85	43	43	171
42	田中千枝子	日 高	41	43	84	42	45	171
42	山本百合子	日 立	41	42	83	43	45	171
42	山崎美津江	富士御殿場	40	42	82	46	43	171
42	菅原美津子	鎌ヶ谷	43	44	87	40	44	171
49	八坂史江子	青 葉 大	43	41	84	47	41	172
49	大 崎 幸	津 久 井 潤	43	41	84	45	45	172
49	佐々木譯子	鳥 山 城	44	45	89	41	42	172
52	青森美樹	甘 葉 東	40	45	85	42	46	173
52	長岡洋子	千 葉 国 際	43	42	85	46	42	173
54	宮沢ふみ美	八	42	44	86	44	44	174
54	小林フサ子	東 京 国 際	42	43	85	45	44	174
54	菊地美枝子	大 厚 木	47	44	91	41	42	174
54	長谷川睦子	立 川 国 際	47	41	88	46	40	174
54	新田祐子	藤 岡	44	44	88	45	41	174
54	宮前慶子	伊 势 原	43	44	87	44	43	174
60	和田せつ子	中 山	46	40	86	42	47	175
60	里見真左子	府 中	43	42	85	42	48	175
60	荒 崎 朋 子	長 野	44	41	85	47	43	175
60	山崎満江	相 武	42	41	83	48	44	175
60	長岡秀子	厚 木 国 際	48	43	91	42	42	175
60	竹内莉子	富 士 土	46	41	87	44	44	175
66	佐川治子	東 京 国 際	44	41	85	45	46	176
66	清 水 厚	大 厚 木	47	45	92	41	43	176
66	村山惠美子	同 部 チ サン	44	40	84	46	46	176

競技

昭和60年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

地区別 順位	東京 (青梅)		埼玉 (川越)		千葉第1 (南総)		千葉第2 (長太郎)		神奈川 (大秦野)		茨城 (水戸グリーン)	
	岡部チサン	450	姉ヶ崎	454	千葉	463	横浜	428	セントラル	460	水戸	462
1 東京国際	458	岡部チサン	450	姉ヶ崎	454	千葉	463	横浜	428	セントラル	460	
2 青梅	460	高根	458	袖ヶ浦	459	我孫子	465	小田原湯本	444	水戸	462	
3 府中	461	武藏	465	船橋	459	新千葉	469	東名厚木	447	筑波	467	
4 立川国際	466	山川	466	南越	465	習志野	472	戸塚	447	大利根	468	
5 東京五日市	468	真名	468	中名	466	中山	475	秦野	449	アジア下館	471	
6 東京よみうり	468	東京	469	鷹之台	472	柏	482	相模原	449	龍ヶ崎	476	
7 八王子	470	狭山	472	藤ヶ谷	473	東京湾	483	大相模	450	富士・笠間	476	
8 武蔵野	472	飯能	472	房総	475	東千葉	483	葉山国際	452	茨城	476	
9 桜ヶ丘	472	高坂	476	一の宮	475	八幡	484	磯常陽	455	常陽	479	
10 GMG八王子	479	熊谷	477	総武	477	長太郎	485	相模	456	桜	481	
11 小金井	479	廣済堂埼玉	477	鎌ヶ谷	482	成田スプリングス	485	中津川	457	霞台	485	
12 多摩	488	東松山	482	千葉廣済堂	483	鹿野山	487	伊勢原	459	水戸グリーン	485	
13 相武	490	入越	483	千葉新日本	484	銚子	488	平塚富士見	459	扶桑	486	
14 霞ヶ関	483	本千葉	489	上締富士	491	大秦野	464	江戸崎	487			
15 越生	484	紫	492	千葉国際	492	レインボー	467	浅見	489			
16 日高	486	京葉国際	495			湯河原	468	白帆	489			
17 鴻巣	490					箱根	468	土浦	492			
18 ノーザン錦ヶ原	501					津久井湖	469	麻生	494			
19 秩父国際	514					川崎国際	469	大洗	494			
20								茨城	495			
21								フレンドシップ	496			
22								日立	500			
23								東筑波	502			
24								取手新日本	509			
25								ダイヤグリーン	516			
26								宍戸国際	520			
個人位	鈴木正治 (府中)	大島義治 (岡部チサン)	大沢正春 (鷹之台)	湯佐佳正 (中山)	荒井康晴 (相模)	岩田文男 (筑波)						
A	74	72	69	74	70	72						
B	内山健司 (青梅)	小川透 (岡部チサン)	佐久間義雄 (姉ヶ崎)	村田良一 (習志野)	中島廣行 (秦野)	平山治 (江戸崎)						
	69	72	69	71	67	71						

栃木第1 (東宇都宮)		栃木第2 (南摩城)		群馬 (群馬)		静岡 (東名)		長野 (長野)		新潟 (長岡)	
芳賀 千成	473 476	都宇都宮	464 465	伊香保 伊香保国際	471 477	東名	450 460	長野	462 479	フォレスト 長岡	500 502
那須チサン	480	塙原	471	赤城国際	480	富士士	470	諏訪湖	481 479	新潟	503
東宇都宮	481	あさひヶ丘	474	甘樂	481	富士チサン	473	月	487 517	妙高	517
紫塙	481	唐沢	477	太田双葉	483	豊岡国際	474	松本	495 上越国際 (十日町)	上越	518
烏山城	485	鹿沼	479	草津	484	浜松シーサイド	474	長野国際	495	松ヶ峯	521
足利	485	那須小川	479	美野原	485	藤枝	475	穗高	500 三井の森	新津	525
日光	487	鹿沼	480	鳳凰	486	沼津	476	南	502 信州塩嶺	石打後楽園	526
枥木	488	矢板	482	上毛森林	486	函南	480	佐久平	511 日本海	日本海	526
関東国際	490	韋月・佐野	489	群馬馬	488	富士宮	481	佐久平	511 上越国際 (米山)	大新潟	528
佐野	493	南摩城	492	桐生	493	朝雲	481	千曲高原	514 サニコ一	上越	530
皆川城	495	広陵	493	サンコー	502	南箱根	486	サニコ一	515 紫雲	湯田上	530
宇都宮国際	500	鬼怒川	501	上毛高原	503	富士平原	487			津川	543
杉ノ郷	504	藤和那須	501	高崎KG	523	静岡・浜岡	488			笹神五頭	549
韋月・鹿沼	506	風月	513			太陽	488				
鶴	509	華嚴	518			静岡・島田	489				
松本明 (東宇都宮)	70	飯盛節一 (宇都宮)	74	星野光 (美野原)	75	山崎博靖 (富士)	76	馬場明 (長野)	71	朴本敬穎 (松ヶ峯)	81
渡辺健雄 (那須チサン)	72	駒場武志 (藤和那須)	72	石原純一 (伊香保国際)	72	須藤盛雄 (太陽)	70	徳山幸雄 (望月)	73	齊藤元良 (新潟)	77
佐藤昇行 (都賀)		柴崎幸信 (美野原)		室伏健二 (東名)						中田泰範 (フォレスト)	

関東ゴルフ連盟

ルール Q&A

Q-1 旗竿が見えない時は、ホールの位置で旗竿をさし上げて貰うことができる

パー4の16番ホールでK君の3打目は高麗グリーン(当日使用)の左下に止まった。球の位置からは旗竿が見えない。K君はキヤディにホールの位置で旗竿を高くさし上げて貰れと頼んだ。K君はキヤディのさし上げた旗竿を目がけて4打目をプレーした。

バンカーの近くにいたS君が、球を打つとき旗竿をさし上げてもらって目印にすることは反則だと言い出した。それに同調するように近くにいたA君も、球を打つときはプレーの線に目印を置いてはいけない筈だとS君の説に賛成した。K君は、昔は確かに良かった筈だと不満をもらしていたが、結局委員に聞いてみることでおさまった。

A-1 ストロークする前およびストローク中、プレーには旗竿に人を付き添わせたりホールの位置を示すためにさし上げさせたりすることを昔から規則で許されておりました。従って、質問の状況では、打った球が旗竿やキヤディに当らない限り罰はありません。

S君とA君は、プレーの線を指示するための目印を置いてプレーすることを禁じている規則と間違っていたようです。旗竿はホールの位置を示す標識ですから、たとえキヤディにさし上げさせてもホールの位置にある限りホールの位置を示す標識であり、プレーの線の目印とは異なります。

参考一規則17条1(旗竿に付き添い、取り除き)

Q-2 ティ・ショットは空振りに終り、球はベッグから落ちたとき

H君は9番パー4のホールでティ・ショットは見事な空振りとなり、球は風圧でベッグから落ちてしまった。そのとき、球はティの区域内にあるのだから拾い上げて再びティ・アップできるというA君と、空振りに終ってもティ・ショットをした球はイン・プレーになって拾い上げはできないというK君との意見に分れた。

H君は不利な方を選べば間違いないと言って、ベッグから落ちた球をそのままスプーンで打ってプレーを続けていった。A君説の如くティ・アップできるか?

A-2 ティでストロークした後は、球は動いても動かなくても1ストロークに数え、球は勿論イン・プレーとなります。

従って、ティから落ちた球を拾い上げることはできません。もし、その球を拾い上げてティ・アップしてプレーすると3打目をプレーしたことになります(末尾注を参照)。

また、H君がパック・スイングして打とうとしたとき、風に吹かれて球がティから落ちスイングを中止できたりとき、あるいはティ・ショットのためのアドレスでクラブ・ヘッドが球に触れて落ちたようなときは、球は未だイン・プレーとなってませんから、こんな場合は罰なしで再ティ・アップができます。縁起をかつぐならば位置を変えてもかまいません。

注 空振りによってティから落ちた球を拾い上げてティ・アップして打つと、イン・プレーの球を拾い上げた罰が1打、イン・プレーの球を拾い上げたときは元の位置にリプレースしなければならないことを怠ったことによる2打の罰と計3打の罰が加わりますが、同じ条項内の連続した行為による反則の罰は2打で打切れますから4打目をプレーしたことになります。しかし乍ら、この場合は紛失、アウト・バウンズ、アンプレヤブル等のティからの打ち直しと同じ扱いにするという裁定によって、ティから3打目をプレーしたことで宜しいということになっています。

参考一定義6(イン・プレーの球)、規則18条2(止まっている球をプレーする)、規則18条末尾(球のリプレースを怠った場合)、規則20条5(前ストロークをした箇所から次のストロークをする場合)

Q-3 障害物と障害物の間にスタンスがとれるならば障害物からの救済は受けられない。

9番ホールでKさんはティ・ショットを打ち損じ、球はティ・グラウンド左前を勢よく転って管理道路の方向に行った。球の行き先はティから低い所なので何處に止まったかはわからない。前方に歩いてゆくと図1のように管理道路の横を並行するU字溝の右側のラフの中に止まっていた。

Kさんは管理道路とU字溝との間のラフにスタンス

ルール Q&A

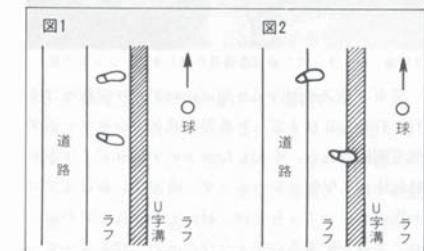
をとってU字溝の先にある球を打たなければならぬ。スタンスと球との距離は丁度よいがU字溝が何となく目障りで打ちにくい。障害物(道路とU字溝)の救済を受けてU字溝から離れた所にドロップできないか?

A-3 Kさんの球は誠に運の悪い所に止まってました。もう少しU字溝に近づくか離れていたら道路かU字溝のどちらの上にスタンスがかかるかで障害物からの救済が受けられました。現場の状況ではKさんの打とうとする方向に対しては道路もU字溝もスタンスの妨げにはなりません。救済を受けられる条件が何もあります。U字溝が目障りで打ち難いだけでは障害物からの救済は無理です。もし、Kさんがする事を考えて、俺はオープン・スタンスで打つよと言つて大股に足を開き図2のよう

これならば救済が受けられるだろうと主張しても、これは通用しません。

障害物による障害が、必要のない異常なスタンス、スイングまたはプレーの方向をとることによってのみ生じる場合は障害物からの救済は受けられない。と規則が先回りして防止しております。

参考一規則24条2(動かせない障害物からの救済)と同項末尾の例外。



お知らせ

●コース・レート

ク ラ ブ 名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
東雲ゴルフクラブ (5月9日査定)	70.6	68.7	72.0	69.9
広陵カントリークラブ (5月10日査定)	71.5	69.3	71.6	69.4
松ヶ峯カントリー倶楽部 (5月16日査定)			70.6	68.6
黒姫・神奈			70.1	68.4
神奈・妙高			70.8	68.4
春月ゴルフ倶楽部玉造コース (5月22日査定)	69.5	67.3	69.2	68.0
キャンプ座間ゴルフクラブ (5月24日査定)	70.2	69.0		
東千葉カントリー倶楽部 (書類審査)				
コース改道中の仮コース・レート				
5月20日より7月下旬まで	67.9	66.3	67.2	65.8
以後10月下旬まで	69.9	68.0	69.3	67.5

●コース距離訂正

コ ー ス 名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
新宇都宮カントリークラブ				
西・中	71.0(6,128)	69.0(5,588)	71.8(6,140)	69.6(5,699)
中・東	71.1(6,025)	69.2(5,525)	71.8(6,030)	69.6(5,623)
東・西	71.6(6,099)	70.0(5,745)	72.2(6,202)	70.5(5,846)
塙原カントリークラブ				
北・中	69.8(5,915)	68.5(5,517)	70.7(6,174)	69.4(5,736)
中・南	71.1(6,199)	69.0(5,627)	72.0(6,387)	69.8(5,814)
北・南	71.2(6,205)	69.1(5,644)	72.3(6,475)	70.0(5,840)

理事長変更のお知らせ

川崎国際カントリー倶楽部	(新) 大倉 徳治	松浦 精一	(新) 空 席
石打後楽園カントリークラブ	(旧) 三嶋 栄	(旧) 平野 三仁	(新) 松浦 正義
入間カントリークラブ	(新) 上野 他一	海老原 亜久寿	(旧) 室 充
	(旧) 仙石 裕	橋口 寂	佐々木義朗
		井上 幸久	石原加代子
		日比野恒次	(新) 安芸 伸夫
			(旧) 吉井 伸

クラブ代表者変更のお知らせ

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 代 表 者
真名子カントリークラブ	松浦 精一
日本ゴルフ倶楽部	松浦 精一
水戸グリーンカントリー部	海老原 亜久寿
草月ゴルフ倶楽部	(新) 松浦 正義
うるきハイランド	橋口 寂
カントリークラブ	井上 幸久
戸塚カントリー倶楽部	日比野恒次
	(新) 安芸 伸夫
	(旧) 吉井 伸

第8回ジュニアゴルフ教室

●期日 昭和60年4月1日～3日 ●場所 真名カントリークラブ ●参加者 86名



夕食後、センター内で斎藤委員長の話をして聞くジュニア達。

関東ゴルフ連盟の第8回ジュニアゴルフ教室は4月1日から3日まで、千葉県の真名カントリー倶楽部で開催された。参加したジュニアは86名。午前6時起床から早朝トレーニング、練習場においてプロの指導でレッスンを受け、続いて各組にプロやジュニア委員が配置されて1ラウンドのラウンド・レッスン。夕食後はルールとマナー、それにゴルファーとしての心構えについての講習が行なわれるというピッソリとつまつたスケジュールで3日間を過した。



▲「鉄は熱い内に打て」とばかりジュニア教室はマナーにも厳しく自分の作ったティーポットはかならずうめる。
◀小学生も自分のキャディーバッグを肩にかけてラウンド。

今回の教室で特に変わったことは、個々に交渉してレッスンを担当してもらっていたプロの講師が、日本プロ・ゴルフ協会との話し合いで、「ジュニアの育成の為であればプロ協会として協力する」ということになり、プロのそうそうたるメンバーがプロ協会から派遣されたことだった。

田原紘、小出忠雄、土山録志、山本恭弘、木下久雄の各プロが前半2日間の指導に当り、最終日には関東プロ・ゴルフ協会の事業企画広報委員長の松井

功プロ自身が乗り込んで来たばかりでなく、石井秀夫、佐藤市雄、沼沢聖一らの各プロが前半のメンバーと交替して指導に当ってくれたため、ジュニアの参加者たちも大喜び、レッスンにも自然に熱が入り、成果も大きかったようだ。



環境もまた素晴らしい。真名はゴルフ・コースばかりでなく、テニス・コートからプール、それに陸上のトラックを併設した豪華なエアロビクス・センター等を含めた長柄「ふる里村」を経営しており、ジュニアの宿泊にはこの「ふる里村」の林間に点在するツイン・ルームの気のきいたコテージが当たられ、朝は小鳥の鳴き声に目覚めさせられるなど、都会っ子の多いジュニアもすっかり気に入った様子、ひと晩は夜のミーティングでエアロビクス・センターを開放してくれ、講師つきでエアロビクスの講習も行なわれたが、ジュニア達が昼間の疲れも忘れて喜々として参加していたのが印象的だった。



「イテ…」といながらもさすが軟かい体でエアロビクスもどんどんこなす

理事会・委員会

加盟倶楽部殿 昭和60年6月6日

関東ゴルフ連盟 理事長 細川護貞

60年度第3回理事会議事録

60年度第3回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和60年6月6日(木)正午

場 所 ホテルニューオータニ

出席者 細川理事長、武内副理事長、相山、藤原、勝又、古茶、古賀、松浦、松野、大槻、斎藤、佐藤各常務理事、福田富市、浜口、河西、勝山、北村、小宮山、小山、小林金太郎、小林忠、松本、佐久目、滝沢、竹井、渡辺、山崎、山本、吉沢各理事、及び岩本監事

決議事項

1. 50周年記念行事計画の件

50周年実行委員会の武内委員長より、委員会を年史と記念品を担当する第1小委員会と、記念競技と賞品を担当する第2小委員会とに分けて検討した結果、年史は口絵8頁、本文160頁、資料20頁、年表8頁程度にして予算は500万円で製作すること。記念品は種々検討して岩田久利作の工芸ガラス壺に決定、50周年記念競技は10月29日(火)に横浜カントリークラブで開催することをお願いし、この予算が約550万円、また関東オープン選手権も本年度は記念大会として特別賞金700万円を上乗せすることになっている。その賞金配分は次の通り

優勝 150万円、2位 100万円、3位 90万円、
4位 80万円、5位 70万円、6位 60万円、
7位 50万円、8位 40万円、9位 30万円、
10位 30万円

他にKGA主催のアマチュア各競技に対し、10位までに記念特別賞を出すこととした。
と報告、全員異議なくこれを了承した。

2. 関東オープン準備状況報告の件

武内副委員長より関東オープン・ゴルフ選手権の前売入場券は4日間分4枚総8,000円の予定だったが、周囲の事情により、これを10,000円に値上げ、これにともなって当日入場券も前半2日間各日2,000円を3,000円に、後半決勝ラウンド各日5,000円を6,000円に値上げしたこと、また開催クラブの飯能では前売券の販売やパンフレットの広告募集等に大変にご苦労をされているが、コースの整備も十分で、それにキリンビールが特別協賛として2,500万円を提供してくれることになり、財政的にも楽になり、すべてが順調に進んでいる旨を報告、全員異議なくこれを了承した。

3. 61年度主催競技開催コース選定の件

コース選定委員会の武内委員長より、現在までに、関東アマチュア選手権が筑波で、関東女子は柏、関東グランド・シニアが東京、関東ジュニアが武藏、ジュニア予選が錦ヶ原、日本女子選手権が千葉C.C.野田と決定しているが、日本オープンと関東オープン、それに関東シニア、クラブ対抗等の開催クラブについては目下交渉中である旨の報告があり、これも異議なく了承された。

4. 委員会報告

競技委員会

中井委員長、森井副委員長が欠席のため、武内副理事長がかわって委員会議事録にもとづいて報告を行った。運営方針については従来の方針を踏襲するが、委員会の編成には出来るだけ兼任を避けるため、他の委員会の委員長や副委員長を務めている方は競技委員を兼務しないよう気をつけたこと、委員を1班5名ずつ6班に分け、班別に競技を担当するようにし、今後は競技開催クラブの委員の方々に積極的に競技運営に参加してもらうこと、及び後援競技についても出来るだけ連盟から競技委員を派遣せず、その競技の開催コースの委員に競技運営を任せる従来の方針を守ることを確認した等の説明があり、これも異議なく了承された。

ハンディキャップ委員会

古茶副委員長より、4月15日の委員会では各クラブの実施状況から未実施クラブの実態をつかんで対応することにして、特にクラブの理事や

理事会・委員会

会社役員にJGAハンディキヤップ・システムを理解してもらい、推進に協力を求める事と、次に手計算でJGAハンディキヤップを実施しているクラブでは、複数のクラブに所属しているメンバーカーの場合には、うまく通用していないケースが多いので、バランスを取り意味からもグリーン・システム採用の推進をはかりたいこと、またコンピュータを活用したKGAグリーン・システムについては、採用114クラブのうちスコアシートの処理枚数から30パーセントに近いクラブが完全実施をしていないことが判明したが、これらの対策としてコンピューターの処理料金の値下げを交渉し、現在スコアシート1枚の処理料金60円を50円に値下げ出来る見通しがついたこと、及び今後の方針としては、未実施クラブの委員会だけに働きかけてはなかなか実施に踏み切れないようなので、理事会、並びに会社役員等にも働きかけて一層の促進を図ることにした等の説明があり、全員これを了承した。

税対策委員会

勝又委員長より、5月31日に開催した税対策委員会では、JGAでの税対策委員会の経過報告と今後の対策について話し合い、本年度が見直しの時期に当る固定資産税は大まかな計算だが10パーセント前後の値上がり程度でまとまったこと、今後の税対策については元々地味な運動だが、利用税の廃止は無理としても、現状をなんとか維持するよう陳情活動を続ける方針であるとの説明があり、全員異議なく了承した。

ジュニア委員会

斎藤委員長より、同委員会では4月1日から3日まで、千葉県の真名カントリー倶楽部にて第8回ジュニア・ゴルフ教室を開き、86名のジュニアが参加したが、真名ではジュニアを立派なコテージに収容したばかりでなく、豪華なエアロビクス・センターも開放してもらうなど、多大の協力をしてくれたこと、また講師には日本プロ・ゴルフ協会より松井功プロをはじめ、9名のティーチング・プロが派遣され、これにジュニア委員と学連から動員した10名が加わって

大きな成果をあげたとの報告があり、続いてこの夏のジュニア行事としては日帰りの1日レッスンを8月19日(月)が桜ヶ丘カントリークラブ、8月23日(金)は東京ゴルフ倶楽部で開催すること、またこの他にジュニア初心者教室も日帰りでノーザン錦ヶ原ゴルフ場で開催する予定で、日下コース側と日程調整中だが、この行事計画をご承認願いたいと要望、全員異議なくこれを承認した。

グリーン委員会

古賀委員長より、4月9日に港区虎ノ門の農林年金会館にて第11回KGAグリーン研究講習会を開催し、日本植物防疫協会の荒木隆男先生より「ゴルフ場における芝草の病害とその対策」について講演してもらい、参加者は151名に達する盛会だったこと、及び次回は11月に開催する予定で虫害を中心にする予定であるとの説明があり、続いてグリーン研究所設置については連盟でやることには無理があるため、グリーンキーパーの団体である日本グリーンキーパーズ協会で設置した方が良いという結論が出されているが、このほどこのキーパーズ協会会長よりこの研究所設置についてのアンケート調査をするに当り、グリーン委員長の名前でこの調査に対するご協力依頼を加盟クラブに出したのでござん承願いたいとあいさつ、私案としては賛同者を集めて研究所の実体をなんとか造り上げることだと考えているが、これもアンケートの結果を見てから対処したいと説明、これも全員異議なく了承した。

5. 新規加盟申請クラブの件

入会資格審査委員会の武内委員長より、同委員会で審議した加盟申請クラブの報告があり、全員異議なく次の3クラブの加盟を承認した。これで加盟クラブの総数は345クラブとなった。

新規加盟クラブ/信州駒ヶ根カントリークラブ・うるぎハイランドカントリークラブ・韮月ゴルフ倶楽部玉造コース
退会クラブ(%付)/森町カントリークラブ(解散の為)

6. 後援承認の件

次の競技の後援を承認した。

No.	競技名	主 催 者	開 催 日	開 催 コース
1	'86関東県オープン ゴルフ選手権大会	茨城新聞社	7/10-11	筑波 カントリークラブ
2	第5回東日本オープン アマチュアゴルフ 選手権大会	日本パブリック ゴルフ協会	決勝 5/14-15	那須野ヶ原 カントリークラブ
3	'85神奈川県アマチュア ゴルフ選手権大会	神奈川新聞社	男子決勝 6/17 女子決勝 8/6	平塚富士見 カントリークラブ 美善 カントリー倶楽部
4	'85かながわオープン ゴルフトーナメント	テレビ神奈川 神奈川新聞社	7/13-14	横浜 カントリークラブ 西コース
5	'85NST新潟オープン ゴルフ選手権競技	新潟総合テレビ 新潟県	8/1-4	紫雲ゴルフ倶楽部
6	第5回新潟県アマチュア オープン選手権	新潟県	決勝 6/24	紫雲ゴルフ倶楽部
7	'85埼玉オープン ゴルフトーナメント	テレビ埼玉	7/10-11	高根 カントリー倶楽部

7. その他

①カーボン・クラブの件

武内副理事長より、カーボン・ヘッドのアイア

ンについては現在R&Aに審査を依頼中であり、その結論が出るまでは競技に使用しても失格とはしないが、JGAとしてはその回答を待って態度を決定するとの説明があった。

②クラブ対抗キャプテン会議の件

滝沢理事よりクラブ対抗予選のキャプテン会議は会場に一杯な人で組合せも大変なので予選のキャプテン会議だけは地区毎に開くようにしてはいかか…と提案があり、武内副理事長より次回の競技委員会で検討して決定するとの回答があつた。

③クラブ対抗のクラス別の件

神奈川の小林金太郎理事より、神奈川県のクラブ対抗の折にAクラスは50才以上となっているが、これを55才以上と未満に分けてほしいとの要望が強かった旨の報告があつた。

次回理事会 9月12日(木) 於: ホテルニューオータニ
以 上

実施規定

昭和60年度 関東グランド・シニアゴルフ選手権競技 実施規定

関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル606 TEL. 03(215)0511

期　　日 昭和60年10月23日(木)
開催場所 我孫子ゴルフ倶楽部
我孫子市岡戸1110
TEL. 0471-82-0111

1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.プレーの条件 18ホール・ストローク・プレー

3.タイの決定 18ホールを終り、第1位がタイの場合は即日サドン・デスのプレー・オフを行ない、第1位を決定する。

4.参加資格 加盟クラブ会員で競技当日年齢70歳以上で、JGAハンディキヤップ22まで。但し、未実施クラブは下記計算により20まで。

(注) JGAハンディキヤップをもっていない方は、所定の申請書に1年以内のベストカード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

5.賞 優勝者 KGA杯(レプリカ)

2位 菊三

3位 "

4位 "

5位 "

(全員に参加記念品)

6.参加料 15,000円

(注) 締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。

7.申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申し込むこと。

申し込みを受けたクラブは所定の用紙に参加料を添え、連盟に申し込むこと。
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込みのこと。

8.申込締切日 昭和60年9月30日(木)

締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。

9.指定練習日 10月18日(金)、22日(火)

実施規定

昭和60年度(第36回) 関東オープンゴルフ選手権競技 実施規定

- 主催 関東ゴルフ連盟 後援 日本放送協会(NHK) 協賛 飯能ゴルフクラブ・日本ダンロップ
- 1.開催日 昭和60年9月5日(木)、6日(金)、7日(土)、8日(日)
 - 2.開催場所 飯能ゴルフクラブ
埼玉県飯能市芦刈場495
TEL. 04297-2-3680
 - 3.競技方法 (1)72ホール・ストローク・プレー
9月5日(木) 第1ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
9月6日(金) 第2ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
(2)36ホールを終り、上位60位まで(アマチュアを含む)のものが、後半36ホールに進む。
但し、アマチュアのみの成績第3位までのものは60位以外であっても後半36ホールの出場を認める。
9月7日(土) 第3ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
9月8日(日) 第4ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
(3)72ホールを終り、プロ、アマとともに第1位にタイ・スコアを生じたとき
 - (テレビ放送) 第3日、第4日 NHK実況放送
 - 4.参加資格 アマチュア:
関東アマチュアゴルフ選手権競技成績40位まで
前年度世界アマチュア選手権日本代表選手(関東在住者)
プロフェッショナル:
関東オープンゴルフ選手権歴代チャンピオン
関東オープンゴルフ選手権前年度15位まで
関東プロゴルフ協会選考85名
KGA特別承認者
 - 5.賞 品 優勝 関東オープン・チャンピオン杯 NHK杯
アマチュア ベスト・アマチュア KGA賞 NHK杯
第2位、第3位 KGA賞
予選入選賞 KGA賞
 - 6.プロ賞金 総額30,000,000円(この順位はアマチュアを除く)

順位	賞金	順位	賞金	順位	賞金	順位	賞金
優勝	6,000,000円	16位	450,000円	31位	270,000円	46位	170,000円
2位	3,000,000	17位	430,000	32位	260,000	47位	160,000
3位	1,800,000	18位	410,000	33位	250,000	48位	160,000
4位	1,200,000	19位	390,000	34位	240,000	49位	150,000
5位	1,000,000	20位	380,000	35位	230,000	50位	150,000
6位	900,000	21位	370,000	36位	220,000	51位	140,000
7位	800,000	22位	360,000	37位	210,000	52位	140,000
8位	750,000	23位	350,000	38位	210,000	53位	130,000
9位	700,000	24位	340,000	39位	200,000	54位	130,000
10位	650,000	25位	330,000	40位	200,000	55位	120,000
11位	600,000	26位	320,000	41位	190,000	56位	120,000
12位	570,000	27位	310,000	42位	190,000	57位	110,000
13位	540,000	28位	300,000	43位	180,000	58位	110,000
14位	510,000	29位	290,000	44位	180,000	59位	100,000
15位	480,000	30位	280,000	45位	170,000	60位	100,000
			以下予選通過者		100,000		
			合計		30,000,000		

7.参加申込方法 競技参加料を添え加盟クラブまたは所属団体を通じ、締切期日までにKGAに申込むこと。

8.競技参加料 KGA加盟クラブ選手20,000円KGA加盟クラブ以外の選手25,000円但し、締切以後の参加取消しの場合は参加料を返

- 金しない。
9.申込締切日 昭和60年7月30日(火)
締切後は事由の如何を問わず受け付けない。
10.指定練習日 昭和60年9月2日(日)、3日(火)、4日(水)
但し、4日の練習ラウンドはアウト・イン共正午をもってスタートを締切る。

実施規定

関東ゴルフ連盟創立50周年記念

関東オープン特別賞金(700万円)

本年度は関東ゴルフ連盟の創立50周年に当たり、関東オープンゴルフ選手権競技も特別記念競技とし、規定の賞金の他に優勝より10位までに右記特別賞金を出すことになりました。

優勝	1,500,000円	6位	600,000円
2位	1,000,000円	7位	500,000円
3位	900,000円	8位	400,000円
4位	800,000円	9位	300,000円
5位	700,000円	10位	300,000円

昭和60年度 関東シニアゴルフ選手権競技 実施規定

関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル606 TEL. 03(215)0511

- ◎予選期日 昭和60年9月10日(火) 第1ブロック、11日(水) 第2ブロック
- 開催場所 第1ブロック
相模野カントリー俱楽部
津久井郡城山町葉山島1010-1
TEL. 0462-81-1421
- 第2ブロック
習志野カントリークラブ(空港コース)
香取郡山田町小川1371-1
TEL. 04787-9-2111
- 1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。
- 2.競技の条件 9月25日(火) 第1ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
9月26日(水) 第2ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
- 3.タイの決定 36ホールを終わり、第1位がタイの場合、委員の指定するホールに於て、サドン・デスマッチ方式のプレー・オフにより第1位を決定する。
- 4.参加資格 (1)予選通過者(各ブロック60位)
(2)前年度関東シニア10位
- 5.賞 優勝者 KGA賞(レプリカ)
2位 菊三
3位 #
4位 #
5位 #
(全員に予選通過記念品)
- 6.参加料 20,000円(但し、決勝シード選手のみ)
(注)締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。
- 7.申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申し込むこと。
申し込まれたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申し込むこと。
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込みのこと。
- 8.申込締切日 昭和60年9月12日(木)
締切以後は理由の如何を問わず受付けない。
- 9.指定練習日 第1ブロック 9月2日(木)、9日(木)
第2ブロック 9月6日(金)、10日(火)
以上のうち1人1回限り会員並み扱いとする。何れの場合も予めスタート時間を予約すること。
- (参)考 JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年内のベストカード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

月例競技成績表

〔60年4月月例〕 参加：男子102名 女子67名 4月11日(木) 於：千葉カントリークラブ(梅郷コース)

(男子)

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	合計
1	佐久間 勝二	袖ヶ浦	35	37	72
1	佐々英之	慶応大	35	37	72
1	西山文敏	大利根	38	34	72
1	米山剛	鳥山城	35	37	72
5	小出一尤	姉ヶ崎	36	37	73
5	内藤正幸	桜ヶ丘	39	34	73
(以上入賞)					
7	五十嵐唯郎	東京五日市	38	36	74
7	細野照夫	千成	37	37	74
7	白井正衛	新千葉	36	38	74
7	芹沢大介	鳥山城	35	39	74
7	高橋敏	小田原	36	38	74
12	網中一郎	霞ヶ関	38	37	75
12	池谷英雄	相模原	39	36	75
12	大西佑三	桜ヶ丘	37	38	75
12	鹿塙一郎	セントラル	38	37	75

(注) 佐久間勝二、佐々英之、西山文敏、米山剛氏はタイスクアの為に6月月例にてプレー・オフを行ないます。 コース・レート 70.7
2月月例プレー・オフの五十嵐唯郎、坂田哲男、並木秀、松井浩、宮脇夫氏は、五十嵐唯郎氏が優勝しました。

(女子)

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	合計
1	谷弘恵	青山学院	41	36	77
2	渡辺恵子	高根	37	41	78
(以上入賞)					
3	永沢利永子	入間	39	40	79
3	新田佐喜子	藤岡	40	39	79
5	中田朱美	袖ヶ浦	41	39	80
6	大谷悦子	大相模	41	40	81
6	加藤勝栄	平塚富士見	40	41	81

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	合計
8	清水厚子	大厚木	40	42	82
8	鈴木エツ	大妻野	41	41	82
10	猪股美恵子	上総富士	41	42	83
10	田村千代子	鎌ヶ谷	42	41	83
10	中村友美	東千葉	42	41	83
10	原和子	東名	42	41	83
10	和田せつ子	中山	44	39	83

コース・レート 69.6

(注) 2月月例プレー・オフの谷弘恵、吉沢キミ子氏は、谷弘恵氏が優勝しました。

〔60年6月月例〕 参加：男子71名 6月17日(月) 於：鷹之台カントリー倶楽部

(男子)

順位	氏 名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	
			アウト	イン	アウト	イン		
1	鳴田憲人	青梅	36	35	71	39	35	145
2	小川透	郡部チサン	36	37	73	35	38	146
3	松田守功	野	37	39	76	38	34	148
4	岡田光正	嵐山	37	39	76	36	38	150
4	星野正治	武藏野	34	37	71	40	39	150
(以上入賞)								
6	田代昌義	新千葉	38	38	76	41	34	151
6	鹿塙一郎	セントラル	37	38	75	37	39	151
6	上代修二	山	36	37	73	37	41	151
9	大西佑三	桜ヶ丘	39	40	79	36	37	152
9	中村雅明	日大	34	38	72	40	40	152
9	中村清	水戸	37	36	73	38	41	152
9	鈴木軍治	袖ヶ浦	40	35	75	38	39	152
9	宮里佑文	版能	37	39	76	39	37	152
9	森永正隆	武藏	37	40	77	40	35	152

(注) 4月月例プレー・オフの佐久間勝二、佐々英之、西山文敏、米山剛氏は佐久間勝二氏が優勝しました。

〔60年6月月例〕 参加：女子34名 6月7日(金) 於：桜ヶ丘カントリークラブ

(女子)

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	アウト	合計
1	鈴木エツ	大楽野	40	39	36	115
2	三木恵美子	富士	41	38	39	118
(以上入賞)						
3	中田朱美	袖ヶ浦	41	38	40	119
4	吉沢キミ子	セントラル	41	40	39	120
5	加藤勝栄	平塚富士見	39	40	42	121
6	喜多麻子	茅ヶ崎	42	40	40	122

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	アウト	合計
6	菊地恵美子	宇都宮	40	39	43	122
6	新田佐喜子	藤岡	41	42	39	122
9	内田トシ子	新宇都宮	37	44	43	124
10	山崎美津江	富士御殿場	45	40	40	125
10	羽賀八重子	大熱海国際	40	41	44	125
10	熊塚順子	船橋	40	40	45	125
10	福井美保	GMG八王子	43	44	38	125

コース・レート 73.4

昭和60年7月1日 発行KGAニュースNo.11

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 TEL.(03)215-0511 発行人 細川謙貞 編集 広報委員会